



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アーネストワン
コード番号 8895 URL <http://www.arnest1.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西河洋一

問合せ先責任者 (役職名) 社長室長

(氏名) 岡田慶太

TEL 042-461-6288

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	84,724	28.7	9,981	11.7	10,024	11.6	5,882	11.3
23年3月期第2四半期	65,816	△7.4	8,937	20.0	8,979	20.2	5,283	△29.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	89.56	—
23年3月期第2四半期	80.46	80.44

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	84,488	53,984	63.9
23年3月期	80,333	50,400	62.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 53,984百万円 23年3月期 50,400百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	35.00	40.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	35.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	182,500	13.5	21,800	2.1	21,700	1.6	12,700	1.1	193.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成23年10月28日)公表いたしました「第2四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】3ページ「2. (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	65,688,000 株	23年3月期	65,688,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	679 株	23年3月期	679 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	65,687,321 株	23年3月期2Q	65,670,423 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成23年5月13日に公表いたしました業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
第2四半期会計期間	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災発生による落ち込みから、一部に回復の兆しがみられるものの、雇用情勢や所得環境は依然として厳しく、さらに海外経済の低迷や急速な円高の進行等により、先行き不透明な状況が続いております。

当不動産業界におきましては、サプライチェーンの修復により建設資材の供給が回復し、新設住宅着工戸数に持ち直しの動きがみられますが、低価格物件を中心に他社との競争は依然として厳しい状況にあります。

このような情勢のなか、当社は、ひとりでも多くの人々に住宅を持ってもらいたいという信念のもと、徹底した原価管理と品質の向上に努め、良質な戸建分譲住宅及び分譲マンションを低価格で供給してまいりました。また、営業面におきましては、平成23年8月に堺営業所、平成23年9月に石巻営業所、富士営業所を新設いたしました。

業績につきましては、戸建分譲事業及びマンション分譲事業において引渡数が増加したこと等により、売上高及び利益が前年同期を上回りました。なお、引渡数は戸建分譲事業が3,302棟（建売分譲3,176棟、土地売分譲126区画）、マンション分譲事業が246戸となっております。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は847億24百万円（前年同期比28.7%増）となりました。営業利益は99億81百万円（同11.7%増）、経常利益は100億24百万円（同11.6%増）、四半期純利益は58億82百万円（同11.3%増）となりました。

また、当第2四半期会計期間の売上高は506億92百万円（前年同期比38.9%増）となりました。営業利益は56億76百万円（同13.2%増）、経常利益は56億89百万円（同13.0%増）、四半期純利益は33億47百万円（同12.9%増）となりました。

なお、当社の売上高は、主力事業である戸建分譲及びマンション分譲において、第4四半期会計期間に集中し、著しく増加する傾向にあります。このため、各四半期会計期間の業績に季節的変動があります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①戸建分譲事業

建売分譲におきましては、販売単価は低下したものの販売棟数が増加したこと等により、売上高は746億63百万円（前年同期比21.7%増）となりました。また、土地売分譲の売上高は25億49百万円（同7.9%増）、請負工事の売上高は3億39百万円（同32.4%減）となりました。結果として、戸建分譲事業全体の売上高は775億52百万円（同20.7%増）、税引前四半期純利益は86億97百万円（同5.6%減）となりました。

②マンション分譲事業

マンション分譲事業におきましては、販売単価の上昇と販売戸数の増加等により、売上高は71億71百万円（前年同期比351.5%増）、税引前四半期純利益は12億52百万円（前年同期は税引前四半期純損失2億73百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における総資産は844億88百万円（前年度末比5.2%増）、負債は305億4百万円（同1.9%増）となっております。総資産増加の主な要因は、販売用不動産の仕入を積極的行ったことにより、たな卸資産が増加したことによるものであります。負債増加の主な要因は、販売用不動産の仕入に伴うプロジェクト資金の調達による有利子負債の増加によるものであります。また、純資産増加の主な要因は、四半期純利益の獲得によるものであります。

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前年度末に比べ31億74百万円減少し、205億65百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は30億51百万円（前年同期比73.4%減）となりました。これは主に、税引前四半期純利益を99億97百万円獲得したものの、たな卸資産の増加額が70億18百万円及び法人税等の支出が52億79百万円であったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1億84百万円（前年同期は投資活動の結果得られた資金4億2百万円）となりました。これは主に、有形固定資産取得による支出が93百万円及び投資有価証券の取得による支出が64百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は60百万円(前年同期比96.2%減)となりました。これは主に、短期借入金の純増額が32億8百万円あったものの、長期借入金の返済が5億99百万円及び配当金の支出が22億98百万円であったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績を踏まえ、平成23年5月13日に公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成23年10月28日)公表の「第2四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

四半期会計期間に係る法人税等については、四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(累計期間)に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,740	20,565
販売用不動産	8,574	10,851
仕掛販売用不動産	36,848	41,261
未成工事支出金	2,856	3,195
貯蔵品	8	19
前渡金	1,648	1,935
その他	2,159	2,097
流動資産合計	75,836	79,926
固定資産		
有形固定資産	3,204	3,233
無形固定資産	66	56
投資その他の資産	1,226	1,272
固定資産合計	4,496	4,562
資産合計	80,333	84,488
負債の部		
流動負債		
支払手形	3,164	3,932
工事未払金	10,792	9,358
短期借入金	5,133	8,341
1年内返済予定の長期借入金	819	1,296
1年内償還予定の社債	500	250
未払法人税等	5,359	4,187
前受金	862	1,203
賞与引当金	442	426
役員賞与引当金	119	21
その他	1,202	997
流動負債合計	28,396	30,013
固定負債		
長期借入金	1,076	—
退職給付引当金	424	455
資産除去債務	4	4
その他	31	31
固定負債合計	1,536	491
負債合計	29,932	30,504

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,269	4,269
資本剰余金	3,167	3,167
利益剰余金	42,964	46,548
自己株式	△0	△0
株主資本合計	50,400	53,984
純資産合計	50,400	53,984
負債純資産合計	80,333	84,488

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	65,816	84,724
売上原価	52,316	68,935
売上総利益	13,499	15,788
販売費及び一般管理費	4,562	5,807
営業利益	8,937	9,981
営業外収益		
受取賃貸料	50	61
その他	65	83
営業外収益合計	115	144
営業外費用		
支払利息	61	91
その他	11	9
営業外費用合計	73	101
経常利益	8,979	10,024
特別損失		
固定資産除却損	0	4
固定資産売却損	—	1
災害による損失	—	20
特別損失合計	0	26
税引前四半期純利益	8,979	9,997
法人税等	3,695	4,115
四半期純利益	5,283	5,882

(第2四半期会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	36,496	50,692
売上原価	29,004	41,710
売上総利益	7,492	8,981
販売費及び一般管理費	2,476	3,305
営業利益	5,015	5,676
営業外収益		
受取賃貸料	25	30
その他	34	43
営業外収益合計	59	74
営業外費用		
支払利息	34	54
その他	7	6
営業外費用合計	41	61
経常利益	5,033	5,689
特別損失		
固定資産除却損	0	—
固定資産売却損	—	1
災害による損失	—	9
特別損失合計	0	10
税引前四半期純利益	5,033	5,678
法人税等	2,067	2,331
四半期純利益	2,965	3,347

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	8,979	9,997
減価償却費	48	51
引当金の増減額 (△は減少)	△52	△83
受取利息及び受取配当金	△5	△8
支払利息	61	91
固定資産除売却損益 (△は益)	0	6
売上債権の増減額 (△は増加)	26	50
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△15,025	△7,018
前渡金の増減額 (△は増加)	△898	△286
差入保証金の増減額 (△は増加)	△337	△9
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△748	△185
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,162	△665
前受金の増減額 (△は減少)	365	340
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△97	△236
未払又は未収消費税等の増減額	△446	200
その他	△30	12
小計	△9,320	2,257
利息及び配当金の受取額	5	8
利息の支払額	△97	△37
法人税等の支払額	△2,036	△5,279
営業活動によるキャッシュ・フロー	△11,449	△3,051
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	500	—
有形固定資産の取得による支出	△88	△93
有形固定資産の売却による収入	—	0
投資有価証券の取得による支出	—	△64
その他	△9	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	402	△184
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,614	3,208
長期借入れによる収入	862	—
長期借入金の返済による支出	—	△599
社債の償還による支出	△250	△250
株式の発行による収入	14	—
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△1,639	△2,298
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,602	60
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△9,444	△3,174
現金及び現金同等物の期首残高	24,211	23,740
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,766	20,565

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。